

「第21回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」の来場者数について

「第21回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」は、12月25日(日)をもって全日程を終了いたしました。3年ぶりの会場での開催となった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」は1,612,000人の皆様にお越しいただき、過去最高の来場者数となりました。

記

1 開催期間

2022年11月22日(火)～12月25日(日) ※34日間

2 来場者数

1,612,000人(過去最高)

※前回(2019年)比107.1%(107,000人増)

<参考>

第18回(2019年):1,505,000人(開催日数 34日間) ※これまでの最高

第17回(2018年):1,380,000人(開催日数 34日間)

第16回(2017年):1,341,000人(開催日数 30日間)

※第19回(2020年)は中止、第20回(2021年)はオンライン開催としました。

3 総括

- ・今回3年ぶりの会場での開催となり、天候にも恵まれ、当イベントを待ちわびていた多くの市民、観光客で賑わった。同時期に実施したさっぽろホワイトイルミネーション大通会場のオブジェがリニューアルされ人気を集めたことも寄与し、前回(2019年)を上回る過去最高の来場者数となった。
- ・ドイツ文化を発信するステージ・ワークショップやクリスマス関連のイベントを期間中100回以上実施したほか、札幌・ミュンヘン姉妹都市提携50周年記念特別企画として、さっぽろホワイトイルミネーション大通会場を周遊する謎解きイベント「ミュンヘン×札幌 歴史を紐解く謎解きゲーム」を実施し、多くの方が参加した。
- ・会場中央に設置されたシンボルオブジェ「Gift of Snow」は大幅にリニューアルされ、来場者が木製のウィッシュカードに願いを書いて飾り付ける参加型のオブジェとして人気を集めた。
- ・会場では、環境に配慮した取組としてこれまでも実施してきた、リターナブル食器での飲食提供やバイオディーゼル燃料発電用の使用済み食用油の回収、カーボンオフセットの実施などに加え、今回北海道では初めてとなる、植物の力で発電する「ボタニカルライトクリスマスツリー」を設置した。

以上